



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月14日

上場会社名 ニッポンインシュア株式会社 上場取引所 東
コード番号 5843 URL <https://www.nipponinsure.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 真也
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理事業部長 (氏名) 竹村 洋一 (TEL) 092(726)1080
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	879	14.0	156	41.9	157	57.6	109	42.6
2024年9月期第1四半期	771	—	110	—	99	—	76	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	39.01	38.43
2024年9月期第1四半期	27.91	27.26

(注) 2023年9月期第1四半期の四半期財務諸表を作成していないため、2024年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	4,529	2,056	45.4
2024年9月期	4,600	1,977	43.0

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 2,056百万円 2024年9月期 1,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,622	12.5	516	23.5	517	26.2	360	28.6	128.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期1Q	2,794,300株	2024年9月期	2,794,300株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	20株	2024年9月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期1Q	2,794,293株	2024年9月期1Q	2,740,180株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料入手方法）

決算補足説明資料につきましては、本日、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費の復調や好調なインバウンド需要に支えられ、社会経済活動も緩やかな回復基調を維持する一方で、円安や長期化する地政学的リスクを背景とした各種物価の上昇によるコスト高など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の関連業界である賃貸不動産業界においては、デジタル技術の進化により、契約手続きのデジタル化が進んでおります。具体的には、契約書類のオンライン化や電子署名の導入が行われており、紙の契約書の作成や保管、運送といった手間を省くことが可能となってきております。また、電子契約システムの導入により、契約のスピードアップやリモートでの取引が可能となるなど、業界全体のデジタルトランスフォーメーション（DX）が進展しております。

このような事業環境のもと、当社は多様化する顧客ニーズに対応するべく、これまで培ってきたノウハウを活用し、保証システム及び取扱店様向け顧客情報管理システムの改修を図り、主要都市を中心にサービスの業容拡大を目指してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高879,218千円（前年同期比14.0%増）、営業利益156,994千円（前年同期比41.9%増）、経常利益157,445千円（前年同期比57.6%増）、四半期純利益109,026千円（前年同期比42.6%増）となりました。

なお、セグメント別の経営成績につきましては次のとおりであります。

(保証事業)

保証事業におきましては、積極的な新規取引先の開拓を継続することにより、新規優良顧客の獲得に努め、シェア拡大を目指してまいりました。また、既存クライアントへは随時情報収集を行い、新たな商品設計の提案を行うなど、各施策を実施し顧客ニーズへの対応強化を図ったため、契約件数が順調に推移しました。なお、SMSを使ったWEB請求・オートコール・AIオペレータによるオートメーション化を図るなど、回収効率向上にも取り組んでまいりました。

この結果、本報告セグメントの売上高は822,799千円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益は233,698千円（前年同期比31.0%増）となりました。

(その他)

その他の区分におきましては、ランドリーサービスについては、店舗の美化向上に向けた業者による清掃を行い、「安心、安全、清潔」な店舗を維持するように努めました。

フィットネスサービスについては、お客様一人ひとりに合わせたサポート体制を目指し、ストレッチ教室の開催やカウンセリングを通じてフォロー体制を強化してまいりました。さらに、近隣のスーパーなどを活用した集客活動を通じて、新規会員の獲得を積極的に行ってまいりました。

この結果、本報告セグメントの売上高は56,419千円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は9,570千円（前年同期比0.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産の残高は、前事業年度末に比べ71,292千円減少し、4,529,023千円となりました。

流動資産の残高は、前事業年度末に比べ72,187千円減少し、3,978,503千円となりました。これは主に、未収入金が91,237千円増加、貸倒引当金が31,885千円増加した一方で、現金及び預金が115,464千円減少、求償債権が16,643千円減少したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ895千円増加し、550,520千円となりました。これは主に、有形固定資産が2,127千円減少した一方で、無形固定資産が2,556千円増加、投資その他の資産が465千円増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ149,558千円減少し、2,473,006千円となりました。これは主に、流動負債の保証履行引当金が5,765千円増加した一方で、未払法人税等が91,551千円減少、未払金が38,002千円減少、前受収益が30,261千円減少、賞与引当金が17,264千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ78,266千円増加し、2,056,016千円となりました。これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が30,737千円減少した一方で、四半期純利益により利益剰余金が109,026千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月14日の「2024年9月期決算短信」で発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,460,424	2,344,960
売掛金	19,660	23,538
未収入金	724,337	815,574
求償債権	1,272,764	1,256,120
その他	59,961	56,651
貸倒引当金	△486,457	△518,342
流動資産合計	4,050,690	3,978,503
固定資産		
有形固定資産	30,235	28,108
無形固定資産	81,587	84,144
投資その他の資産	437,801	438,267
固定資産合計	549,624	550,520
資産合計	4,600,315	4,529,023

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	483,500	498,500
1年内返済予定の長期借入金	864	864
未払金	81,222	43,219
未払法人税等	145,754	54,202
預り金	139,096	138,862
前受収益	1,198,795	1,168,533
賞与引当金	35,810	18,545
保証履行引当金	420,239	426,005
その他	13,641	17,431
流動負債合計	2,518,923	2,366,165
固定負債		
長期借入金	6,376	6,160
退職給付引当金	30,736	31,681
役員退職慰労引当金	58,990	62,685
その他	7,539	6,314
固定負債合計	103,641	106,841
負債合計	2,622,565	2,473,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,564	347,564
資本剰余金	367,793	367,793
利益剰余金	1,262,391	1,340,681
自己株式	-	△23
株主資本合計	1,977,750	2,056,016
純資産合計	1,977,750	2,056,016
負債純資産合計	4,600,315	4,529,023

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	771,118	879,218
売上原価	295,199	330,247
売上総利益	475,918	548,971
販売費及び一般管理費	365,263	391,976
営業利益	110,655	156,994
営業外収益		
受取賃貸料	395	395
償却債権取立益	-	680
その他	674	0
営業外収益合計	1,069	1,075
営業外費用		
支払利息	280	528
上場関連費用	11,459	-
その他	96	96
営業外費用合計	11,836	625
経常利益	99,889	157,445
税引前四半期純利益	99,889	157,445
法人税、住民税及び事業税	55,829	49,639
法人税等調整額	△32,418	△1,221
法人税等合計	23,410	48,418
四半期純利益	76,478	109,026

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	保証事業		
売上高			
顧客との契約から 生じる収益	66,835	51,896	118,732
その他の収益	652,385	—	652,385
外部顧客への売上高	719,221	51,896	771,118
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	719,221	51,896	771,118
セグメント利益	178,442	9,511	187,953

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ランドリーサービス及びフィットネスサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	178,442
「その他」の区分の利益	9,511
全社費用(注)	△77,297
四半期損益計算書の営業利益	110,655

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	保証事業		
売上高			
顧客との契約から 生じる収益	85,462	56,419	141,881
その他の収益	737,337	—	737,337
外部顧客への売上高	822,799	56,419	879,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	822,799	56,419	879,218
セグメント利益	233,698	9,570	243,269

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ランドリーサービス及びフィットネスサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	233,698
「その他」の区分の利益	9,570
全社費用(注)	△86,274
四半期損益計算書の営業利益	156,994

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	10,623千円	8,455千円